

15. 履修モデル

- ・モデルA「認知症高齢者の看取りにおける地域包括ケアモデルの有効性に関する研究」
- ・モデルB「超高齢・過疎地域における後期高齢者のソーシャル・サポートと健康との関連に関する研究」
- ・モデルC「ICTの活用による地域包括ケアにおける安全管理システムの開発に関する研究」
- ・モデルD「多職種協働による地域包括ケアをリードする看護専門職育成モデルの開発に関する研究」

区分	科目名	配当年次	単位数	必修・選択の別	履修要件	モデルA	モデルB	モデルC	モデルD
専門科目	超高齢看護開発特講	1	2	必修	● 2単位	●	●	●	●
	安全ケアシステム開発特講	1	2	必修	● 2単位	●	●	●	●
	研究方法特講	1	2	必修	● 2単位	●	●	●	●
	超高齢看護学研究演習	1	2	必修	● 2単位	●	●	●	●
	超高齢看護学特別研究	1～3	6	必修	● 6単位	●	●	●	●
関連科目	地域がん治療学	1	2	選択	○				
	がん医療社会学	1	2	選択	○				
	緩和ケア学	1	2	選択	○				
	環境医学Ⅰ	1	2	選択	○				
	環境医学Ⅱ	1	2	選択	○				
	医学・医療情報学Ⅰ	1	2	選択	○ 2単位				○
	地域医療学Ⅰ	1	2	選択	○ 以上		○		
	地域医療学Ⅱ	1	2	選択	○				
	総合診療学Ⅰ	1	2	選択	○	○			
	総合診療学Ⅱ	1	2	選択	○				
	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用	1	2	選択	○			○	
	知的財産と社会連携	1	2	選択	○				
	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	1	2	選択	○				
合 計					16単位以上	16単位	16単位	16単位	16単位

注) ●専門科目は14単位必修

○関連科目は2単位以上選択